

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス たんぽぽ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ~ 令和7年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日 ~ 令和7年2月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな雰囲気を大切にし、居心地が良く安心できる環境を作り、お子さま一人ひとりのコミュニケーションを大切にし、様々な経験を積み重ねルール等社会性を身につけることに重点をおいている。	職員との1対1の関わりから始め、お友だちに興味や関心をもって相互な会話や遊びが出来るよう介入している。 失敗しても「大丈夫、次やり直しできる」等を伝え、モチベーションを高めることで失敗や成功を繰り返しながらやり遂げる力や自身を育てていく。	一人ひとりの関わりを大切にし、より興味を持てる主体的活動となるようプログラムを精査していく、職員間で共有していく。
2	清潔で心地よく過ごせる環境である。	毎日、おもちゃや人が触るもの等の消毒を行う。 室内換気をこまめに入れ替え、換気することで、最小限の抑えられ、感染症にかられない様十分気をつける。人が触れるものには、消毒は細かく気配りをしている。	定期的に清掃用具の交換、見直しを行う。 換気等は引き続き継続し感染予防にも気を付けていく。
3	保護者様との良好な関係構築に力を入れる。	なるべく保護者様と対面し、日中支援の養育児の様子についてお話させていただく中で、顔の見える関係性と信頼関係を大切にしている。	保護者様が安心していただける様、直接お話することが難しい場合、電話での連絡手段等や連絡帳を活用しより丁寧に分かりやすくお伝えし、深めていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での非常災害が発生した場合。	保護者様むけに情報発信を行っていますが、お子さまの来所日が違うため、日々の活動がよりわかりやすくなるよう周知していく。	インスタグラム、ライン等を活用し、保護者様への情報提供を行っていく。
2	保護者様同士のつながりが不十分である。	イベント等や研修会は行っているが、土日祝日等はご家庭で過ごされることが多く、中々集まらせていただけない。	余裕をもって周知や説明を行い、保護者様の理解を深め参加を促すよう働きかけたい。
3	情報発信について、事業所での取り組みや活動内容、避難訓練の有無等の情報が保護者様に伝わっていない。	保護者様むけに情報発信を行っていますが、お子さまの来所日が違うため、全員が避難訓練を経験できていない。	インスタグラム、ライン等を活用し、保護者様への情報提供を行い、来所人数が多い日にちを確認、複数回避難訓練を計画していく。 避難訓練を実施した時に保護者様に内容等を丁寧に伝えていく。